

2015年9月・10月 行事予定

- 9月25日～11月30日 生協強化月間
9月25日までに各支部スタート集会
9月29日 減塩と世界ハートの日
10月 9日 すこしおレシピ講習会
10月22日 WHO秋の健康ウォーキング
10月25日 ふれあい健康まつり

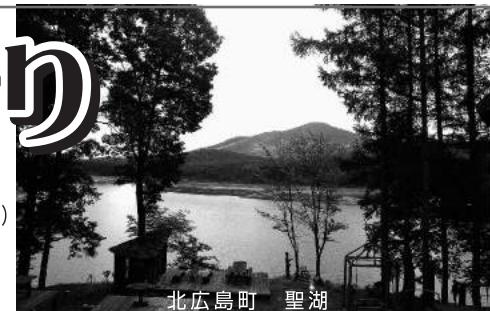
福山医療生協だより

ホームページ <http://www.fico-op.jp>

福山医療生協の現況 組合員14,241人 出資金3億6903万円 (2015年7月31日現在)

(7/1～7/31 新加入者36人 増資者169人)

発行:福山医療生活協同組合 福山市木之庄町2-7-2 TEL 084-973-2280



北広島町 聖湖

いのちが大事、戦争する国NO!

いのちと健康を守る医療生協の組合員と職員は、戦争法案の廃案を求めます。



毎週水曜日午後、城北診療所付近で戦争法案「廃案」の訴えをする福山医療生協の職員

民意を無視し、国民に追い詰められる安倍政権

この法案について、ほとんどの憲法学者が「憲法違反」と明言していますが、「決めるのは学者ではない。政治家だ」と菅官房長官がうそぶき、安倍政権は暴走しています。決めるのは国民です。

中谷防衛相が「憲法をこの法案にどのようにあわせていくか」と法律を憲法の上に置く本末転倒・憲法破壊の発言をし、磯崎首相補佐官は「法的安定性は関係ない」と法治主義を否定しています。

安倍首相は被爆70周年の広島平和記念式典では、非核3原則について語らず、国民の強い批判があり長崎では触れるを得ませんでした。防衛相は核兵器の運搬も可能だと答弁しました。まさに言語道断です。

自民党の勉強会で「法案に批判的な新聞は懲らしめよう」という、報道の自由を弾圧しようとする発言が飛び出しています。

沖縄では強引に基地建設を進めていましたが、翁長知事をはじめ県全体の反対で中断し、協議せざるを得なくなりました。

法案の審議前に、防衛省が法案成立を前提に、自衛隊の詳細な部隊運用計画を作っていたことが暴露され審議が中断しました。

戦後70周年の今年、ともあろうに「戦争する国」へと日本を変える「戦争法案」を自公与党が衆議院で強行採決しました。しかしこの法案は危険すぎる、と多くの国民が反対しています。

実際の戦争を無視した特異な議論

これまで自衛隊の活動は、イラク戦争などでは「非戦闘地域」での「後方支援活動」に限られていました。しかし、安倍政権は戦闘地域での弾薬の補給、給油や核兵器を

含む米軍の武器を輸送し、敵から攻撃されたら「武器使用」もあり得るとされています。

国会論戦で明らかになつたのは、国際的には戦場では「非戦闘地域」や「後方支援」や「武器の使用」というあいまいな

器具の使用」もあり得るとされています。

みなされ、自衛隊が攻撃の対象になり、戦死者が出ることもあり、日本国民が米国の敵による報復の対象になることがあります。

これまで一度もアメリカの戦争に反対したことがない日本は、海外の戦争であっても参戦要請を断つことができるはずが

力行使できることになります。すべて戦闘行為とみなされ、自衛隊が攻撃の対象になり、戦死者が出ることもあり、日本国民が米国の敵による報復の対象になることがあります。

集団的自衛権の行使を認めれば、ベトナム戦争やイラク戦争のようにアメリカが行う無法な戦争に、自衛隊が参戦して武

安全保障法制の危険すぎむの本身

いつでも、どこでも、切れ目なく自衛隊が世界の戦場へ！

自衛隊のリスク増大、
国民も戦争に動員
ありません。

憲法違反の法案に対して憲法学者、大学人、医療関係者、日弁連、文化人など広範な国民と団体が反対の意思表示をし「廃案」を訴えています。特にSEALDs(シールズ)など若い人たちの集まりが全国各地で大きな集会を開いていることは大事なことです。庄原市議会が「法案を廃案に」という要請決議を上げ、波紋を広げています。福山でも9の付日と毎週水曜日の夕方に福山駅前で宣伝・署名行動をしています。この原稿を書いている今、参議院予算委員会で審議していますが、安倍



政権が強行採決するので動員する有事法制がありますが「戦争法」が成立すると「存立危機事態」だと言つて国民が海外の戦争に動員されることになります。

全国の仲間と廃案をめざそう

たとえ国会で成立しても、日本を戦争する国にしたくない広範な国民の戦いは続きます。さまでまな反対運動に皆さんのが参加を呼びかけます。

敵から狙われやすい「兵たん」を担わされ自衛隊の危険は格段に増大します。またイラク戦争に派兵された自衛隊員のうち精神的な後遺症などで56人が帰国後に自殺しています。

第35回通常総代会開催 6月27日 ビッグローズ

総代会では、決算・予算を含め昨年の取り組みと今年度の方針などすべての議案が圧倒的多数の賛成で承認されました。1年間の組合員活動をたたえ多くの表彰が行われました。発言の中から、山崎弘貴医師の心からの訴えを紹介します。

数年前に医療生協だ
りに「医師・医学生をど
紹介ください。」といふ



記事を載せました。反応はゼロでした。ソフトな表現では危機感は伝わらないんだなと考へ直して今回はストレートにお話しします。正直なところ温厚な医師を装つて来ましたので、そのイメージが崩れるのは心配もありますが、まあ仕方がないです。(笑)

まず福山医療生協に来た経緯ですが、医師3年目に3ヶ月間研修に来ました。病院の医療はあまり性に合

で行われている医療というものは温かく人間味があるな
と感じました。

ただ在宅医療というのは
大変です。24時間365日
の対処を一人で担えるのか
となれば無理があります。
ここでは3人で分担して担
つてはいる。それならやれる
だらうという打算的な気持
ちもあつて決心しました。
それから10年間「地域に
住んで地域を診る。」こと
の面白さ、一人の人を長く
診ていく面白さ、そういう
ものを感じながら結構楽し
くやらせてもらいました。
でも、来年の9月に常勤

医師の退職があります。3人ならやれると思っていたのが2人になる。2人になつてどうなるか…。その重大性を皆さんは恐らくあまり考えていないと思います。僕が当然残るだろうと思つておられるかも知れませんが、正直、僕の中では今回かなり葛藤がありました。「2人で本当に支えられるのか、無理じゃないか」という気持ちもありました。でも結局最後は職員や組合員のために「2人になつても支えるしかなしだろう」という結論に至りました。

だけど10年後には今度は1人になります。一人で24時間365日、これはもう無理です。だから申し訳ないですが10年後にもし1人

になつたら、私はここを去ると思つてください。冗談で言つてる訳じやないんです。自分の健康や家族と過ごす時間を犠牲にするのかつて考えますよ。

それに今後2人でできる限り支えると言つても、大幅な業務縮小はやむを得ません。2人でいろんなものを犠牲にして無理して頑張つて、それでも役に立たないと責められたのでは報われないです。

最初の問いかけに戻ります。医師・医学を皆さんご存知ないですか！ご存知ないことはないと思いますよ！これを支えるために力を貸してください！ようしくお願いします。

第35回通常総代会で承認された重点課題

- 1) 医師確保は緊急課題であり全役職員・組合員が取り組みます。
 - 2) 憲法や社会保障制度などを学び、広げ、連帯し社会保障の充実をめざします。(安心の医療、介護、生活支援を求めるなど)
 - 3) 医療福祉生協らしい地域包括ケアを具体化し取り組みます。
 - 4) 組合員が主体的に進める「地域まるごと健康づくり」の実践を広げます。(健康寿命を延ばす取り組みをします。など)
 - 5) 「いのちの章典」を実践し、職員は「医療生協人」をめざします。

2015年度 生協強化月間方針

期間：2015年9月25日（金）～11月30日（月）

スローガン

出会い・ふれあい・支えあいで地域に協同の
“わ”をひろげ、いのち輝く地域をつくろう！

～つながりマップなどを通じて、医療生協と地域の見える化でつながりづくり～

昨年度は強化月間推進委員会で発言された「診療所にかかるから組合に入るのではなく、健康づくりの楽しさで組合に入るそういう仲間を増やす」ということが確信になり、仲間ふやしが大きく進みました。

私たち医療福祉生協は「戦争する国」よりも「誰もが健康で人間らしく生きられる国」を願います。そのために医療福祉生協はより大きく確かに力をつけてはいけません。

今年度の生協強化月間では「つながりマップ」をつくって、それぞれの地域を「見える化」し、地域に出て行き、人々とつながり、知名度を高め、医療生協が地域の人々の要求に応えられるように、協同の“わ”を大きく広げて行きましょう。

～福山医療生協強化月間の具体策～



「つながりマップ」づくりの研修会 7月22日 ふれあい診療所で

- 1) 支部ごとに生協強化月間スタート集会を開催し、成功させましょう。
(9月25日までに)
 - 2) 「10・1仲間ふやし統一行動」にあわせて、9月25日～10月8日の期間、力を集中した取り組みをしましょう。
 - 3) 健康づくりの取り組みで、つながりづくり、地域まるごと健康づくりをすすめましょう。
 - ①けんこうチャレンジの参加者を広げましょう。地域の公民館や集会所、お店などに声をかけてパンフレットを置かせてもらい、けんこうチャレンジの取り組みを広げましょう。
 - ②「すこしお生活」の推進…減塩運動を行いましょう。
 - 4) 医療福祉生協の「つながりマップ」づくりをすすめましょう。

福祉を高める会などつながりたい相手と、どうやつたらつながつていけるかなど具体化していきましょう。

- 5) 事業所は、患者・利用者へのはたらきかけをやりきりましょう。
 - 6) 支部は新たな出会いを創造的にすめましょう。
1支部1行動で新しい仲間を迎えましょう。



課題	年間目標	月間到達目標(年間目標の8割)
仲間ふやし	1,100人	880人
出資金ふやし	3千万円（純増1千万円）	2,400万円
支部づくり 班づくり	千人以上の支部の分割 地域班づくり 40班以上	32班
担い手ふやし	機関紙手配り率80%以上 手配り1人10部以内に	機関紙手配り率80%以上 手配り1人10部以内に

認知症を理解しよう

シリーズ5

認知症を学び地域で支えるために連載しています

認知症には中核症状と行動・心理症状があり、これまで中核症状のうち①記憶障害、②見当識障害を取り上げました。今月は

症状 3 理解・判断力の障害

認知症になると、ものごとを考えたりなにかを判断したりする場合にも支障が出てきます。

①考えるスピードが遅くなります。▶急がせない

時間をかければ自分なりの結論に至ることができます。

②二つ以上のこととが重なると▶シンプルに伝える

うまく処理できなくなります。

一度に処理できる情報の量が減ります。念を押そうと長々と説明すると、ますます混乱します。

必要な話はシンプルに表現することが重要です。

③いつもと違う出来事で▶補い守る

混乱しやすくなります。

- お葬式での不自然な行動や、夫の入院で混乱してしまったことから認知症が発覚することがあります。
- 予想外のことが起こったとき、補い守ってくれる人がいれば日常生活は継続できます。

④目に見えないしくみが理解できなくなります。

- 特にデジタル機器などの目に見えないメカニズムが理解できなくなります。

自動販売機や交通機関の自動改札、銀行

▶のATMなどの前ではまごまごしてしまいます。

全自動の洗濯機、火が目に見えないIH調理器

▶などもうまく使えなくなります。

認知症になってからの買い物は混乱を招く

- 「僕約は大切」と言いながら、セールスマンの口車に乗って高価な羽布団を何組も買ってしまうということも起ります。(観念的な事柄と具体的なことが結びつかない)

※この記事の出典は、NPO法人 地域ケア政策ネットワーク編

認知症サポーター養成講座標準教材「認知症を学び 地域で支えよう」



国民の願いに逆行、「介護」負担増

- ①サービス利用料負担が1割から2割へ倍増
- ②特養などの利用者の負担軽減措置が大幅縮減

2000年に介護保険が始まって以来、2015年、本人負担はずっと1割負担でした。今回8月から、一定額(年280万円)以上所得のある高齢者のサービス利用料が2割になり本人負担が倍増しました。また、非課税の低所得の人で特養などの施設利用者では、利用料は1割負担のままでも、食費や部屋代の補助が8月から打ち切られた人が少なくありません。例えば単身で1000万円以上の預貯金がある人などです。いずれも利用者と家族にとって大打撃です。昨年の国会で与党が成立を強行した「医療・介護総合法」が実施されたことによるもので、高齢者にとつては、「負担ばかりが増え必要ない」、では公的保険とはいえない。詳しくはお問合せください。

在宅センター(電話921-6453)

城北診療所からのお知らせ

夜間・室内でも多い熱中症 見逃さないで「かくれ脱水」



熱中症は真夏の屋外で起こるとは限らず、まだまだ油断できません。夜間でも室内でも起こり、寝ている間に…という危険があります。予防には「かくれ脱水」を見逃さずに対処することが必要です。脱水の初期には自覚症状がありません。緑茶やコーヒーなどカフェインを含むものは避け、水・麦茶などをこまめに摂りましょう。

《かくれ脱水の症状は》

- 手が冷たくなる・口の中や脇の下が乾いている
- 手の甲の皮膚をつまんだ後、もどりが遅い
- 手のひらに指を押し付け、白くなった部分の赤みが回復するのに3秒以上かかる



簡単・お手軽な体操を覚えて、自宅で健康づくりをしよう!

健康体操教室

・期 間：後期…11月～4月

(11月10日(火)開始予定)



・日 時：毎週火曜日 13:00～14:00(60分)

・場 所：城北診療所2階 運動療法室

・内 容：ストレッチ、セラバンド、ペットボトル体操

・対象者：福山医療生協組合員

・料 金：無 料

・定 員：10人～12人(受付にて予約制・先着順)

※定員になり次第受付を終了します。あらかじめご了承ください

「戦争法案NO！」

声をつなごう
プロジェクト

NO! 戦争法案

name
「ひと声カード」
見本(原寸大)

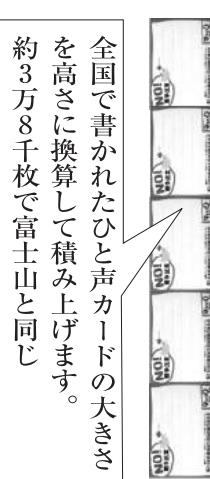
ここに、「戦争法反対！」の思いを書きます。
一人でも多くの組合員と周りの人から声を集め、
戦争法を止める世論を盛り上げます。
9月末までの短期集中の取り組みです。

健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。
日本医療福祉生活協同組合連合会

守ろう！憲法9条

「ひと声カード」
つなげて止めよう！戦争法案

全国で書かれたひと声カードの大きさ
を高さに換算して積み上げます。
約3万8千枚で富士山と同じ



みんなが書いたカードはこうして使おう

- ①パネルにたくさん貼り、集会で使う。
- ②カードで「憲法9条」などの字を書く。
- ③拡大コピーしてプラカード代わりに。
- ④診療所に大きなパネルを用意して患者さんや組合員さんに書いて貼ってもらう。
- ⑤並べてコピーして議員にFAXする。など

●支部や班で、集め方や目標や使い方を話し合いましょう。くわしくは組織部までお問い合わせください。TEL084-973-2280

けんこうチャレンジで健康寿命をのばそう！《2ヶ月で正しい生活習慣に》

♪ 「けんこうチャレンジ2015」が始まります。

「けんこうチャレンジ」は自分でチャレンジしたいテーマを選び、2ヶ月の間に正しい健康習慣を身につけようという取り組みです。

福山医療生協では2007年から毎年、「健康づくり60日チャレンジ」として取り組んできましたが、今年は広島県生活協同組合連合会が主催者となり、広島県内の3つの医療福祉生協（広島中央保健生協・広島医療生協・福山医療生協）が協同して実施することになりました。

県や県内の自治体、広島県農協中央会の後援をいただき、福山市、福山市教育委員会の後援もいただきました。

広島県民の健康寿命をのばす取り組みとして広く呼びかけます。この企画を通じて、こどもから大人まですべての世代で生活習慣の見直しと健康づくりの習慣を身につけましょう。

♪ 10月と11月の2ヶ月間チャレンジ、

広島県全体で5,000人、福山医療生協で600人を目標に！

チャレンジ期間は10月から11月の2ヶ月間です。

8つのチャレンジコースの中から自由に決めて、城北診療所・ふれあい診療所の受付、もしくは支部の運営委員さんに申し込んでください。

記録用紙に日々の取り組みを記録していきましょう。2ヶ月が終了したら報告カードに達成日数と感想を添えて提出（提出先は申込みカードと同じ）してください。キッズチャレンジは10~11月の2ヶ月間に30回達成できるように頑張りましょう。

外来診療表

■城北診療所 ☎ 084-923-8161 *お困りの時も
こちらへ

診療科目/内科・小児科

	月	火	水	木	金	土
午前 9時~ 12時	宅和 山崎	第1週 磯田・水谷・宅和	宅和 水谷	山崎	第1週 宅和・山崎	交 替
		第2週 山崎・水谷		水谷	第2週 宅和・水谷・山崎	
		第3週 磯田・水谷・宅和		検査	第3週 宅和・山崎	
		第4週 水谷・山崎		山崎	第4週 宅和・水谷・山崎	
		第5週 磯田・水谷・宅和			第5週 宅和・山崎	
午後 4時~ 6時	宅和	宅和	山崎 他 医師 交替		山崎	
		13:30~18:00 予約制 心療内科 遠藤				

※健診は4時30分までの予約制です。

※栄養相談 週4回（金曜日を除きます。お問い合わせください。）

■ふれあい診療所 ☎ 084-976-4334 *お困りの時も
こちらへ

診療科目/内科

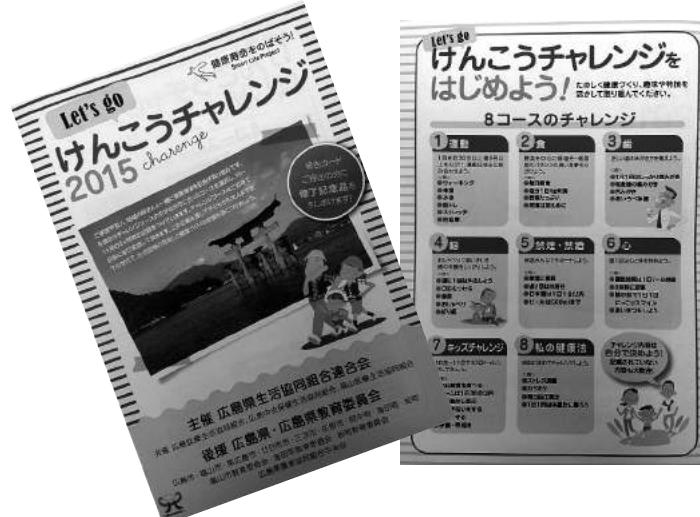
	診察室	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 8時45分~12時 (予約制)	1診	第3週 水谷	武田	武田	武田	第1~5週 水谷	交替
	2診					武田	

※栄養相談 金曜日 9:00~12:00

***** 介護の相談は *****

- しあわせ居宅介護支援事業所 921-6453
- 訪問看護ステーションしあわせ 973-6456
- ヘルパーステーション城北 973-6455
- デイサービスすみれ 973-2218
- 看護小規模多機能しあわせ 921-5511

支部や班、職場やお知り合いなど多くの方にすすめてください。
けんこうチャレンジパンフレットは城北診療所・ふれあい診療所に
置いてあります。お持ち帰りください。



2015年 平和のための 戦争展 in ふくやま

8月1日~3日開催ローズ・コムで開催・入場者350人



あしな支部小野さんによる戦争体験の紙芝居

「虹の広場」に参加して

中央支部
松本順子

「継承と創造」と銘打った、被爆70周年目のピースアクションに初めて参加しました。被爆当時、爆心地に最も近く、一部の校舎のみを残して全壊し、約400人の児童と10人余りの教職員が犠牲になつた、本川小学校を見学しました。被爆校舎の地下室で、パノラマの立体模型を見て、いかに原爆が強大な力ですべてを破壊するかということを、改めて恐怖と怒りを持つ感じました。



本川小学校被爆資料館の地下室

そして、絶望の中から立ち上がり、励まし合いながら生き続けてこれらの人々の大変な苦労を思えば、「戦争は一度とてはいけない」と、改めてつくづく思いました。